



トビタテ！ 留学JAPANの成果と新ステージについて

Tobitate! Study abroad Initiative achievement and next stage



文部科学省 官民協働海外留学創出プロジェクト
プロジェクトディレクター 荒畦 悟

文部科学省初の 官民協働プロジェクトによる支援

背景

- 留学促進キャンペーン「トビタテ！留学JAPAN」の機運醸成フラッグシッププロジェクトとして2014年開始

目的

- “産業界を中心に社会で求められる人材”、“世界で活躍できる人材”の育成
- 学生の海外留学を促進するという観点から、各領域でリーダーシップを発揮する多様な人材を支援し、海外留学の機運を高める

目標

- 学生日本代表を海外へ派遣：
10,000 人
- 民間からの寄附：
200億 円
- 産官学の出身者から構成される協働プロジェクトチームが事業を推進

Global Leader

留学を通じて最大限に成長し、将来の「グローバルリーダー」を目指す

Ambassador

留学期間中は、「日本のアンバサダー（大使）」として日本の良さを発信する

Evangelist

留学生増加のため「留学のエヴァンジェリスト（伝道師）」として活動する

トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラムの実績

産業界で活躍する人材育成を目指したコース多様な6つのコースを準備

2014年	1. 理系、複合・融合系人材コース	2. 新興国コース	対象： 大学生以上 期間： 28日～2年 ※第12期以降は28日～1年
	3. 世界トップレベル大学等コース	4. 多様性人材コース	
	5. 地域人材コース		
	6. 高校生コース		

理系コースが大学生の約半数。2017年より同コース内に「未来テクノロジー人材枠」を設置

コース別 学生 採用実績

【大学生等コース】合計 6,082名

【採用実績】 *地域人材コース採用人数含む

第1期生	323人	(106校)
第2期生	256人	(110校)
第3期生	404人	(113校)
第4期生	437人	(141校)
第5期生	513人	(136校)
第6期生	507人	(138校)
第7期生	608人	(160校)
第8期生	458人	(133校)
第9期生	637人	(167校)
第10期生	434人	(138校)
第11期生	547人	(162校)
第12期生	514人	(158校)
第14期生	444人	(135校)

【高校生コース】合計 3,389名

【採用実績】 *地域人材コース高校生等枠採用人数8人を除く

第1期生	303人	(161校)
第2期生	511人	(331校)
第3期生	501人	(330校)
第4期生	535人	(336校)
第5期生	835人	(461校)
第7期生	704人	(368校)

累計(2021年9月時点)

9,471名

※大学生等コース第13期及び高校生コース第6期は、2020年4月に採用手続中止

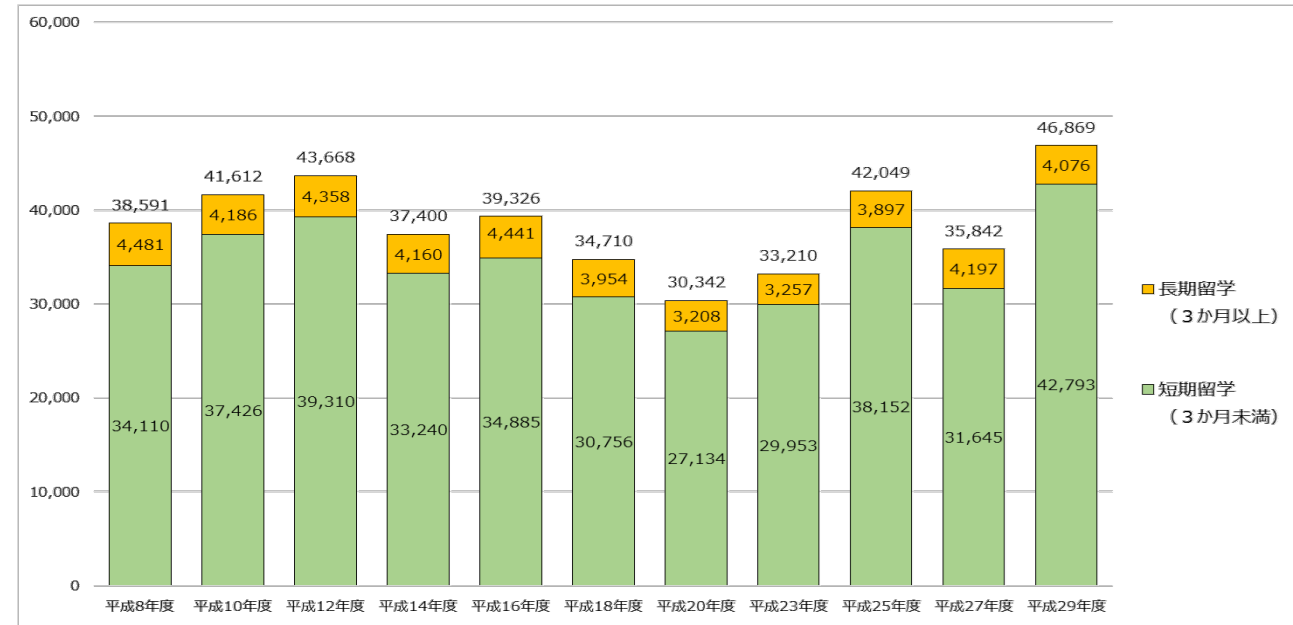
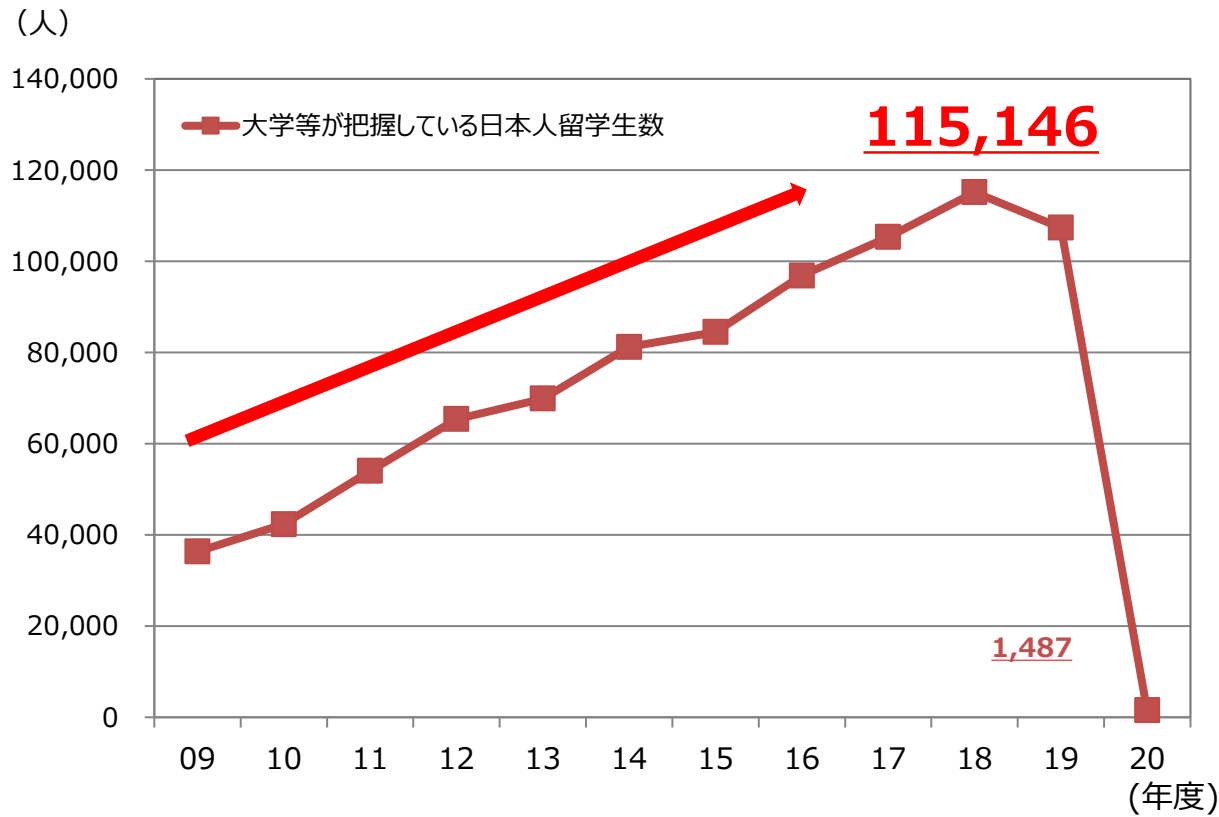
【地域人材コース】合計23地域

【採択実績（累計）】
 (H27年度地域事業)
 栃木県、石川県、三重県、岡山県、徳島県、
 香川県、熊本県、大分県、沖縄県、
 福島県いわき市、奈良県奈良市
 (H28年度地域事業)
 新潟県長岡市、島根県、佐賀県、宮崎県
 (H29年度地域事業)
 北海道、岩手県、福井県、静岡県、長崎県
 (H30年度地域事業)
 山形県、群馬県太田市、広島県福山市

成果① 留学機運醸成

留学機運醸成の成果

- 日本人の大学生等の海外留学は2014年度約8万人から**2018年度約11万5千人**に**約1.4倍増**。
- 高校生は、留学・研修旅行を合わせて**合計4.7万人**。過去最高となった。



成果② 支援企業団体（グローバル人材育成コミュニティ）との連携

グローバル人材育成コミュニティ概況

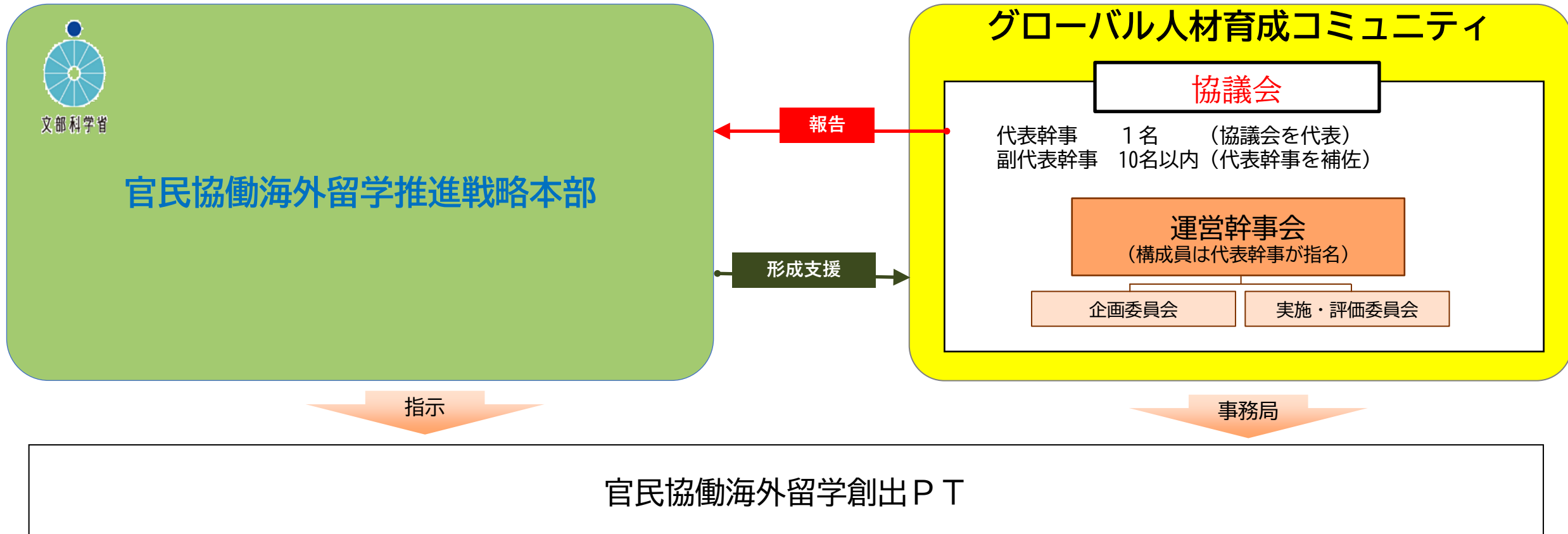
グローバル人材育成コミュニティを創設し、260を超える産官学を代表する団体・企業に加え、全国各地域の企業が一丸となり、オールジャパンでグローバル人材育成に取り組んでいます

グローバル人材育成コミュニティ

経済団体・教育機関関係団体、地方公共団体関係団体等	12団体
地域協議会	23団体
企業・団体	260社・団体

ご支援状況（2022年7月現在）

260の企業様・団体様 約123億円



トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラムを通じた人材育成の仕組み

派遣留学生の成長プロセス

留学目的の明確化

- 選抜による意欲の喚起
- 留学目的が明確になることにより、将来の具体的キャリアプランを描く

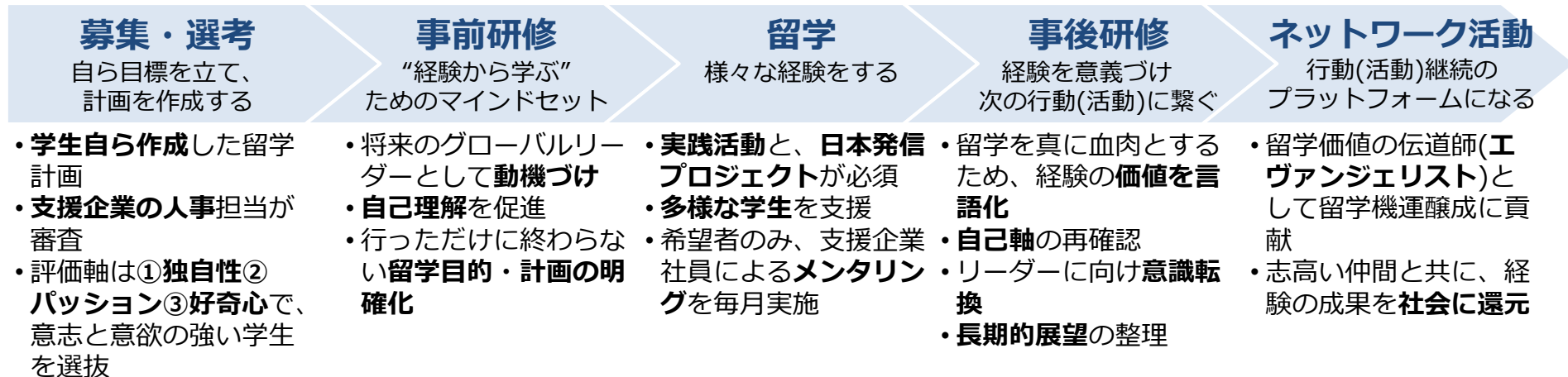
質の高い留学

- 明確な目的を持った優秀な学生が質の高いプログラムに参加し、大きな成果を得る
- 実践活動を通じ、留学後に生かせる多様な経験を積む

留学成果の定着等

- 留学経験者同志の意見交換や、成果報告会等を通じ、留学成果を言語化し真に身に着ける
- インターンや企業説明会等に参加し、企業理解を促進する事で雇用のミスマッチを防止

プログラムの流れ



5つの特徴

- ① 留学生自身による計画作成
- ② 留学中の実践活動
- ③ 日本発信プロジェクト
- ④ 留学前後の研修
- ⑤ 留学後のネットワーク活動およびエヴァンジェリスト活動

選考

選考委員：134社 (延べ1,250名)

- | | |
|--|---|
| 株式会社 I H I
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
株式会社アイスタイル
旭化成株式会社
アビームコンサルティング株式会社
旭化成アミダス株式会社
旭化成ケミカルズ株式会社
株式会社アシックス
一般財団法人あしなが育英会
アルー株式会社
株式会社ECC
伊藤忠商事株式会社
一般財団法人上田記念財団
株式会社内田洋行
SBIホールディングス株式会社
株式会社NTTドコモ
株式会社オウケイウェイヴ
オムロン株式会社
オムロンサイニックエックス株式会社
花王株式会社
学校法人河合塾
キッコーマン株式会社
キッコーマンビジネスサービス株式会社
キヤノン株式会社
キューピー株式会社
京セラ株式会社
株式会社公文教育研究会
KDDI株式会社
株式会社神戸製鋼所
株式会社コーセー
KDDI株式会社
一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会
コニカミルタ株式会社
株式会社小松製作所(コマツ)
サッポロビール株式会社
サッポロホールディングス株式会社
株式会社さなる
JFEスチール株式会社
株式会社ジェイティビー
株式会社ジェイテクト
シスメックス株式会社
株式会社資生堂
株式会社島津製作所
清水建設株式会社
シャープ株式会社
株式会社進研アド
スカイライトコンサルティング株式会社
株式会社SUMCO
住友化学株式会社
住友商事株式会社
住友重機械工業株式会社
住友林業株式会社
駿台国際教育センター株式会社
セイコーエプソン株式会社
積水化学工業株式会社
積水ハウス株式会社
全日本空輸株式会社
双日株式会社
ソニーコーポレートサービス株式会社
ソニーマーケティング株式会社
ソフトバンク株式会社
ソフトバンクモバイル株式会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
太平洋セメント株式会社
大和ハウス工業株式会社
株式会社高島屋
テルモ株式会社
東京エレクトロン株式会社
TSUCHIYA株式会社
武田薬品工業株式会社 | 株式会社東芝
東レ株式会社
トヨタ自動車株式会社
豊田通商株式会社
豊通ヒューマンリソース株式会社
株式会社トラスティバンク
株式会社ナガセ
株式会社ニコン
日産化学工業株式会社
日清紡ホールディングス株式会社
日本アイ・ピー・エム株式会社
日本アイ・ピー・エムクレジット合同会社
日本アイピーエム・システムズエンジニアリング株式会社
日本アイ・ピー・エム・デジタルサービス
日本板硝子株式会社
日本証券業協会
日本タタ コンサルタンシー サービス株式会社
日本たばこ産業株式会社
日本電気株式会社
日本電信電話 (NTT) 株式会社
日本郵政株式会社
日本旅行株式会社
日本ユニシス株式会社
株式会社長谷工コーポレーション
パナソニック株式会社
株式会社パロマ
BNPパリバ銀行
BNPパリバ証券株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
PwCサイバーサービス合同会社
株式会社ビスリーチ
株式会社日立製作所
日立造船株式会社
ファミリーマート株式会社
富士ゼロックス株式会社
富士通株式会社
株式会社富士通研究所
富士フイルム株式会社
株式会社ベネッセコーポレーション
株式会社ベネッセホールディングス
株式会社堀場製作所
三井住友海上火災保険株式会社
株式会社三井住友銀行
三井不動産株式会社
三井物産株式会社
三菱重工株式会社
三菱商事株式会社
三菱電機株式会社
森トラス株式会社
ヤフー株式会社
合同会社ユーグレナSMBC日興リバネスキャピタル
株式会社ゆうちょ銀行
株式会社UACJ
ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社
ライオン株式会社
株式会社LIXIL
株式会社リクルートキャリア
株式会社リクルートホールディングス
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
株式会社リクルートマネジメントソリューションズ
株式会社リクルートライフスタイル
株式会社リンク・インタラック
株式会社レオパレス21
株式会社早稲田アカデミー |
|--|---|

事前研修

基調講演：39社 (45名)

- | | |
|---|---|
| 株式会社島津製作所
豊田通商株式会社
株式会社LIXIL
伊藤忠商事株式会社
株式会社日立製作所
東京エレクトロン株式会社
三井住友銀行
株式会社堀場製作所
川崎重工業
野村ホールディングス株式会社
京セラ株式会社
タイキン工業株式会社
富士通株式会社
東京海上ホールディングス株式会社
KDDI株式会社
キヤノン株式会社
出光興産株式会社
キッコーマン株式会社
日本たばこ産業株式会社
シスメックス株式会社
武田薬品工業株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社東芝
株式会社資生堂 | 日本アイ・ピー・エム株式会社
東レ株式会社
TOTO株式会社
旭化成株式会社
中外製薬株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
住友重機械工業株式会社
三井物産株式会社
BNPパリバ銀行
清水建設株式会社
株式会社アイスタイル
ソフトバンク株式会社
PwCコンサルティング合同会社
ソニーグループ株式会社
株式会社ユーグレナ |
|---|---|

会場提供：8社(事後併せて)

- 株式会社さなる
大和ハウス工業株式会社
武田薬品工業株式会社
東京エレクトロン株式会社
株式会社ナガセ
野村證券株式会社
三菱商事株式会社
株式会社公文教育研究会

留学中

メンタリング：48社 (111名)

- | | |
|--|--|
| あしなが育英会
株式会社NTTドコモ
京セラ株式会社
株式会社神戸製鋼所
(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会
JFEスチール株式会社
シスメックス株式会社
新日本有限責任監査法人
住友商事株式会社
住友商事フィナンシャルマネジメント株式会社
住友林業株式会社
駿台国際教育センター株式会社
双日株式会社
ソフトバンク株式会社
武田薬品工業株式会社
TSUCHIYA 株式会社
東京エレクトロン株式会社
東レ株式会社
豊田通商株式会社
株式会社ナガセ
日本アイ・ピー・エム株式会社
日本アイ・ピー・エム・クレジット合同会社
日本アイピーエム・システムズエンジニアリング株式会社
日本たばこ産業株式会社 | 日本電気株式会社
日本郵政株式会社
野村ホールディングス株式会社
パナソニック株式会社
BNPパリバ証券株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社日立製作所
PwC Japan合同会社
富士ゼロックス株式会社
富士通株式会社
株式会社堀場製作所
株式会社三井住友銀行
三井物産株式会社
三菱商事株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社ユーグレナ*
ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社
株式会社LIXIL
株式会社リクルートホールディングス
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
株式会社リクルートキャリア*
株式会社リンク・インタラック
株式会社早稲田アカデミー
(*トビタテOBOGとして協力) |
|--|--|

<トビタテ生も運営側へ>

- 今年度から、選考委員・メンタリング等へトビタテ生社会人も協力開始
 ■選考委員：10名
 ■メンタリング：9名

※選考委員119名、メンタリング198人の希望者あり(2019年進路調査より)

事後研修

基調講演：35社(40名)

ソフトバンク株式会社
株式会社ナガセ
株式会社小松製作所
株式会社リクルートホールディングス
株式会社LIXILグループ
ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社
マネックスグループ株式会社
野村ホールディングス株式会社
富士通株式会社
東京エレクトロン株式会社
ソニー株式会社
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
豊田通商株式会社
株式会社三越伊勢丹ホールディングス
トヨタ自動車株式会社
SBIホールディングス株式会社
日本航空株式会社
株式会社ANA総合研究所
三井不動産株式会社
株式会社ルネサンス
住友化学株式会社
株式会社堀場製作所
武田薬品工業株式会社
パナソニック株式会社
株式会社ユーグレナ
ヤフー株式会社
株式会社ビズリーチ
アビームコンサルティング株式会社
京セラ株式会社
PWC Japan合同会社
株式会社アイスタイル
日本タタ コンサルタンシー サービス株式会社
株式会社オウケイウェイヴ
株式会社NTTデータ
シスメックス株式会社

会場提供：8社(事前併せて)

株式会社さなる
大和ハウス工業株式会社
武田薬品工業株式会社
東京エレクトロン株式会社
株式会社ナガセ
野村證券株式会社
三菱商事株式会社
株式会社公文教育研究会

派遣留学生コミュニティ

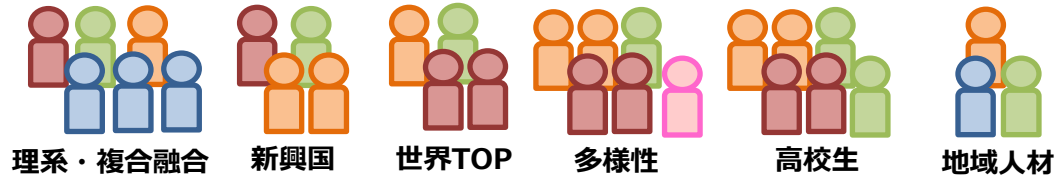
成果報告会：116社(延べ327名)

旭化成アマダ株式会社 株式会社朝日新聞社 株式会社アシックス 味の素株式会社 アビームコンサルティング株式会社 アルー株式会社 出光興産株式会社 株式会社内田洋行 株式会社ANA総合研究所 株式会社エイチ・アイ・エス 株式会社NTTドコモ 大阪ガス株式会社 花王株式会社 株式会社カネカ 兼松株式会社 学校法人河合塾 株式会社紀伊國屋書店 キヤノン株式会社 キュービー株式会社 株式会社公文教育研究会 株式会社クリーク・アンド・リバー社 株式会社クレハ KDDI株式会社 一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会 株式会社コーセー コニカミノルタ株式会社 サクラグローバルホールディング株式会社 サッポロホールディングス株式会社 株式会社さなる 株式会社SUMCO 株式会社ジャパン タイムズ JFEスチール株式会社 株式会社ジェイティービー 株式会社ジェイテクト シスメックス株式会社 株式会社資生堂 株式会社島津製作所 澁谷工業株式会社 シャープ株式会社 信金中央金庫 一般社団法人信託協会 新日鐵住金株式会社 新日本有限責任監査法人 セイコーエプソン株式会社 セイコーホールディングス株式会社	セガサミーホールディングス株式会社 ソニー株式会社 ソフトバンクグループ株式会社 ソフトバンクモバイル株式会社 ダイキン工業株式会社 太平洋セメント株式会社 大和ハウス工業株式会社 株式会社高島屋 武田薬品工業株式会社 株式会社丹青社 中外製薬株式会社 蝶理株式会社 TSUCHIYA株式会社 株式会社ディー・サイン 東京急行電鉄株式会社 東急不動産ホールディングス株式会社 東京エレクトロン株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 株式会社東京個別指導学院 株式会社東芝 TOTO株式会社 東レ株式会社 トヨタ自動車株式会社 豊田通商株式会社 株式会社トラストバンク 株式会社ナガセ 株式会社ニコン 日油株式会社 日本アイ・ビー・エム株式会社 日本板硝子株式会社 公益財団法人日本英語検定協会 日本軽金属グループ 株式会社日本経済新聞社 日本証券業協会 日本電気株式会社 日本郵政株式会社 日本ユニシス株式会社 長谷工グループ BNPパリバ証券株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 ビジョン株式会社 株式会社ビズリーチ 株式会社日立製作所 ファナック株式会社 ファミリーマート株式会社 株式会社ファンケル 富士通株式会社	富士フイルム株式会社 株式会社ベネッセコーポレーション 株式会社ベネッセホールディングス 株式会社堀場製作所 丸紅株式会社 株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社三越伊勢丹ホールディングス 三菱商事株式会社 株式会社三菱東京UFJフィナンシャルグループ 株式会社UACJ ユニ・チャーム株式会社 ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社 ライオン株式会社 株式会社LIXIL 株式会社リクルートキャリア 株式会社リクルート住まいカンパニー 株式会社リンクアンドモチベーション 株式会社レオパレス21 株式会社ヤクルト本社 株式会社早稲田アカデミー 住友重機械工業株式会社 住友林業株式会社 駿台国際教育センター株式会社
--	--	---

成果③ トビタテ生コミュニティの形成

多様で活性化したコミュニティ

多様な若者が混ざり合うアルムナイ



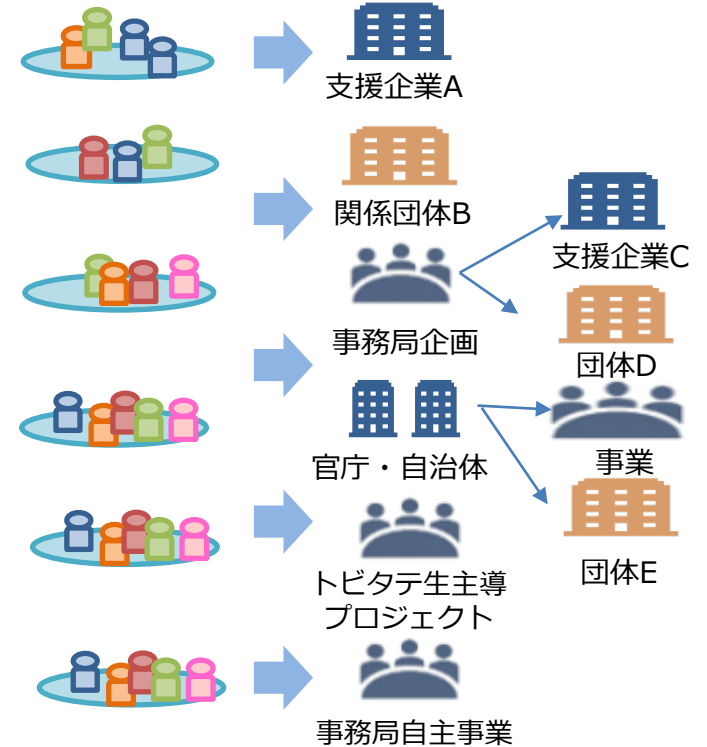
維持・活性化・拡大を実現してきた二つの機能

機能①：安心・安全な交流の場
取り組み：「とまりぎ」、事務局企画等
⇒「人・交流」に興味のあるトビタテ生

機能②：学びや成長の機会
取り組み：学習プラットフォーム（事務局主催）
⇒「知識・学習」に興味のあるトビタテ生

各所との繋がりによる価値創出

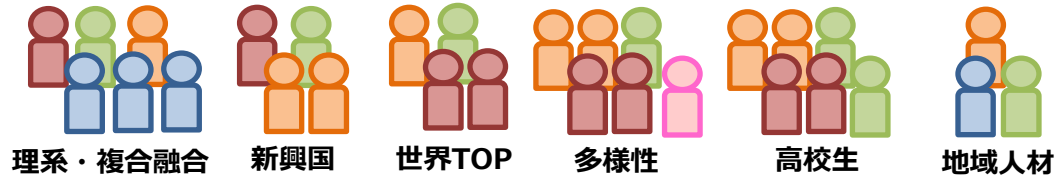
多様性を実現する各所との連携



「とまりぎ」と「学習PF」を両輪にしたコミュニティの活性化

多様で活性化したコミュニティ

多様な若者が混ざり合うアルムナイ



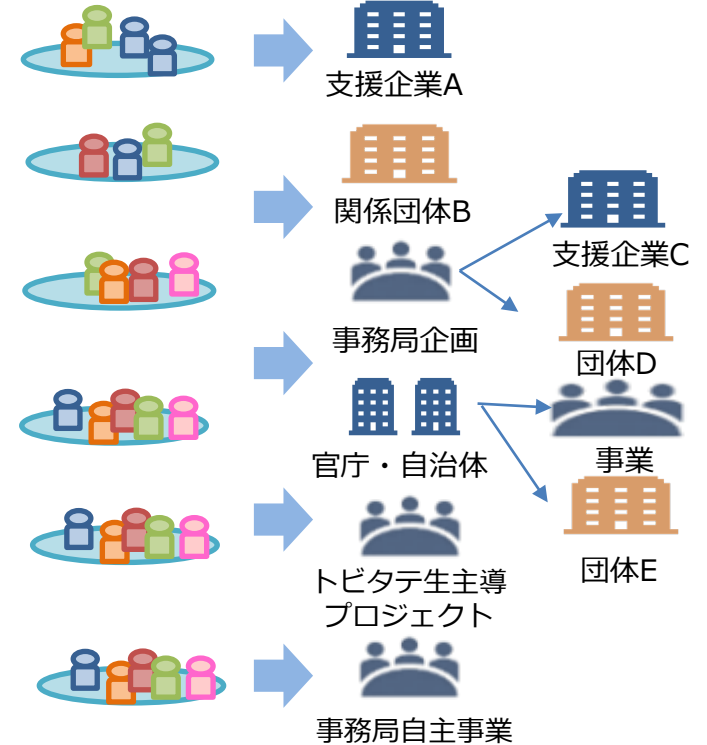
維持・活性化・拡大を実現してきた二つの機能

機能①：安心・安全な交流の場
取り組み：「とまりぎ」、事務局企画等
⇒「人・交流」に興味のあるトビタテ生

機能②：学びや成長の機会
取り組み：学習プラットフォーム（事務局主催）
⇒「知識・学習」に興味のあるトビタテ生

各所との繋がりによる価値創出

多様性が実現する各所との連携



「とまりぎ」と「学習PF」を両輪にしたコミュニティの活性化

大学生等コースのネットワーク これまで採用した派遣留学生の人数とアルムナイ組織「とまりぎ」

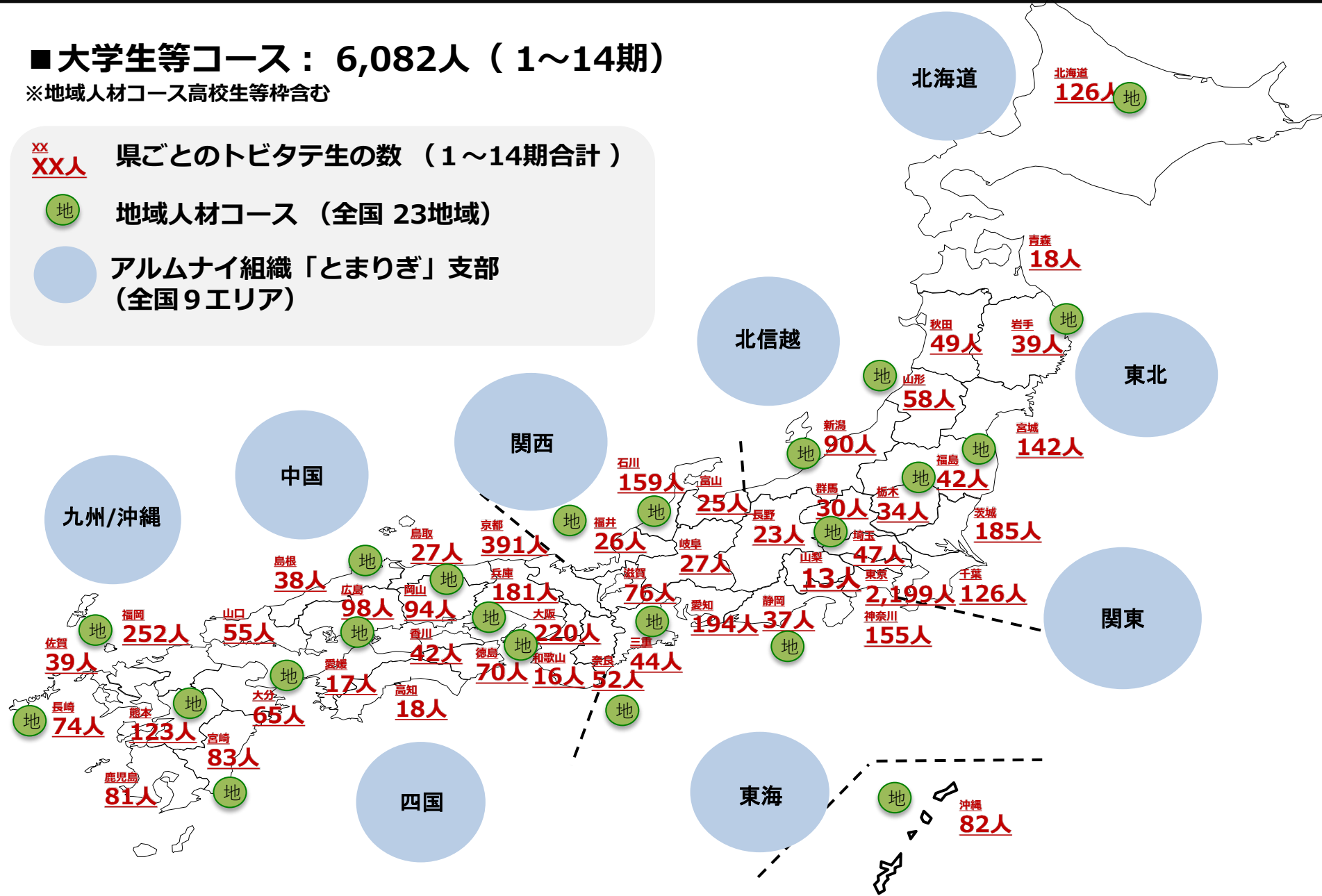
■大学生等コース：6,082人（1～14期）

※地域人材コース高校生等含む

XX人 県ごとのトビタテ生の数（1～14期合計）

地 地域人材コース（全国23地域）

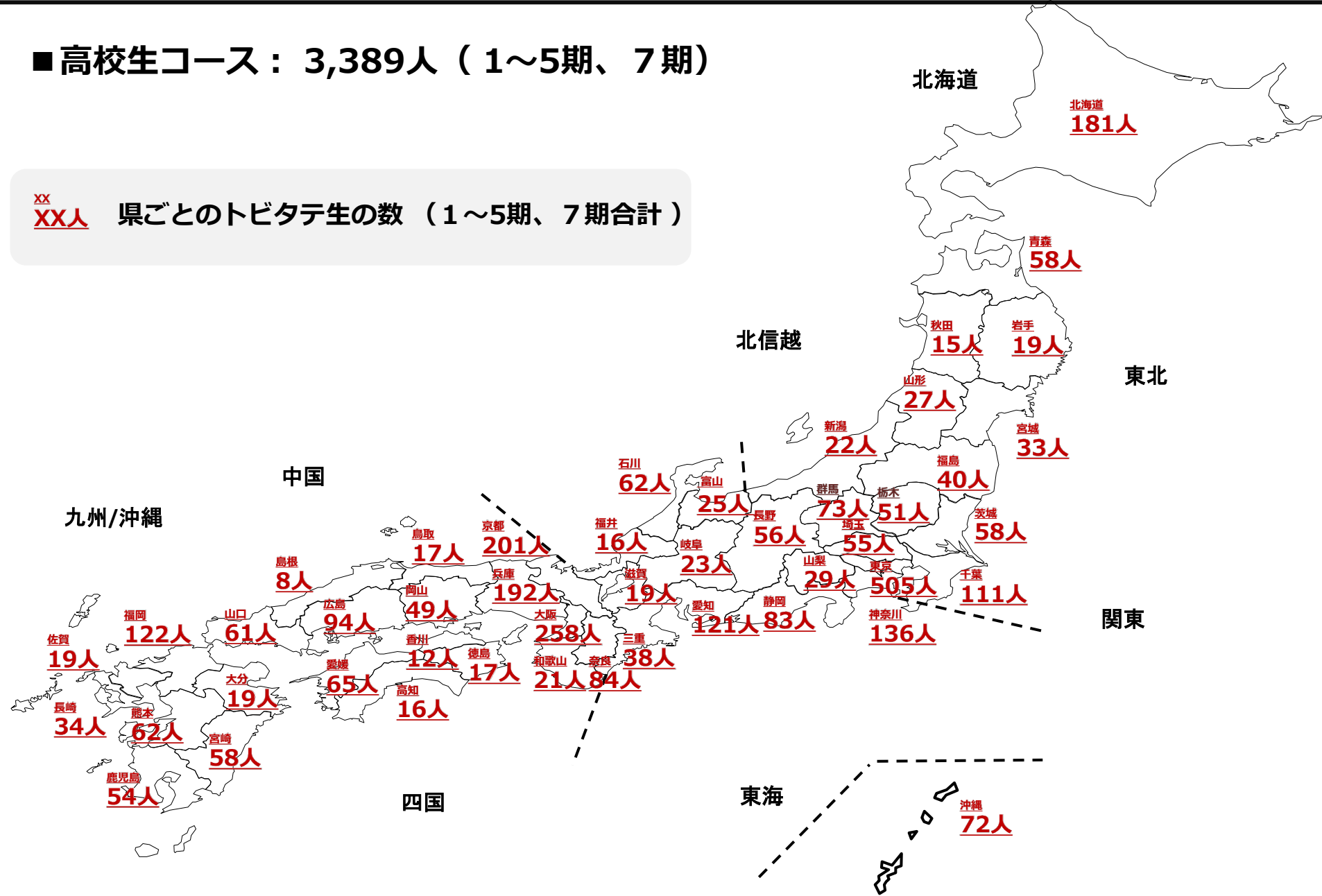
◯ アルムナイ組織「とまりぎ」支部（全国9エリア）



高校生コースのネットワーク これまで採用した派遣留学生の人数

■ 高校生コース：3,389人（1～5期、7期）

XX
XX人 県ごとのトビタテ生の数（1～5期、7期合計）



とまりぎの活動① - 同窓会・文化祭

アルムナイ組織「とまりぎ」では、ネットワークのベースとなるオンラインでのプラットフォーム構築に加え、オフラインの同窓会で直接対話する機会や、各地域別に地域の特色を生かしたイベントを実行しています。

第5回「とまりぎ祭」同窓会 2019年8月31日 350人参加 @文科省



高校生コース第5期生ウェルカムパーティー 2019年6月8日 130人参加 @芝浦工業大学



第1回「トビタテ文化祭」 2020年2月16日 450人参加 @文科省



トビタテ生の留学中の写真展



ブース出展による留学の実演発表



ステージでの留学成果パフォーマンス



様々なトビタテ生の留学活動記録



文化庁日本博とのコラボ企画

期ごと集まり

2018-2019年度(オフライン開催)

期ごと集まり第1弾を開催

- 1期生集まり** 2018年1月7日に開催。(約100名)
- 2期生集まり** 2018年2月11日に開催。(約65名)
- 3期生集まり** 2018年5月26日に開催。(約80名)
- 4期生集まり** 2018年7月16日に開催。(約90名)
- 5期生集まり** 2018年8月26日に開催。(約100名)
- 6期生集まり** 2019年1月5日に開催。(約90名)
- 7期生集まり** 2019年5月11日に開催。(約100名)
- 8期生集まり** 2020年1月13日に開催。(約60名)

2020年度(オンライン開催)

期ごと集まり第2弾を開催

- 1期生～9期生、12期生** (各期合計 約450名)



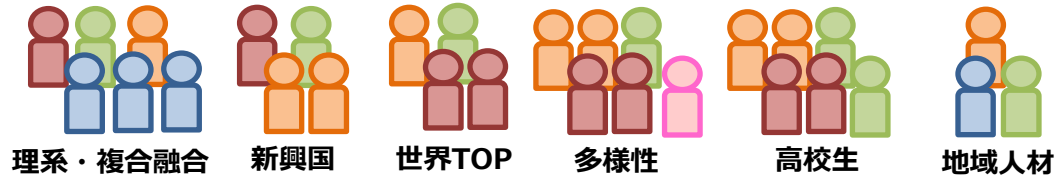
社会人企画

- 「トビタテハウス」を浅草で運営し、共同生活に加え交流会を主催。「Nest原宿」(2018年4月～9月)では半年間で約50件程度のイベントを開催
- YGLに登壇頂く勉強会を定期的に行う
- 2019年6月1日に文科省で社会人集まりを企画し約200人が集結
2019年10月19日に第2回を文科省で企画し、約100人が集結



多様で活性化したコミュニティ

多様な若者が混ざり合うアルムナイ



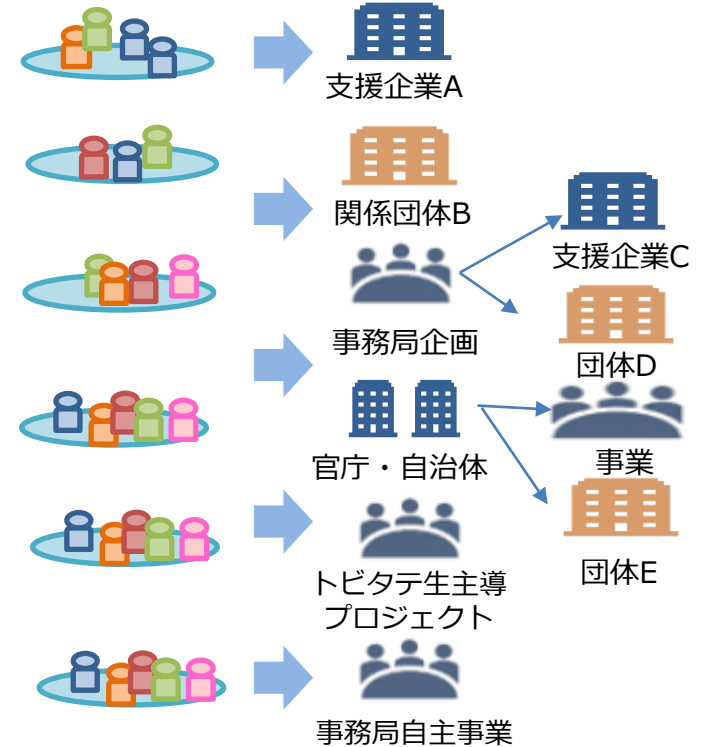
維持・活性化・拡大を実現してきた二つの機能

機能①：安心・安全な交流の場
取り組み：「とまりぎ」、事務局企画等
⇒「人・交流」に興味のあるトビタテ生

機能②：学びや成長の機会
取り組み：学習プラットフォーム（事務局主催）
⇒「知識・学習」に興味のあるトビタテ生

各所との繋がりによる価値創出

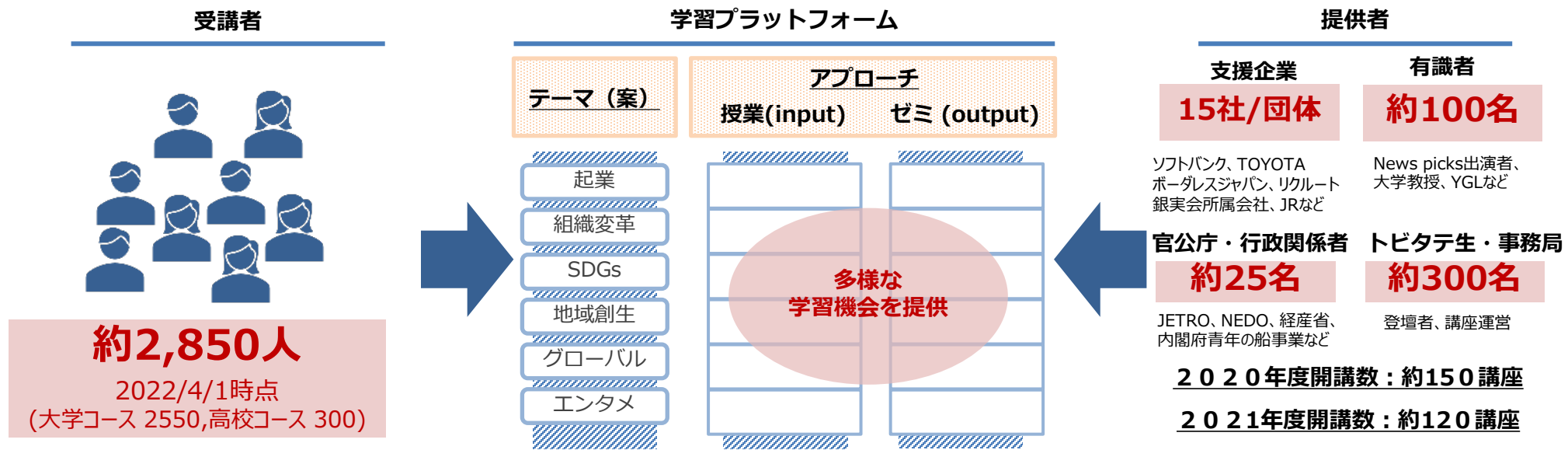
多様性が実現する各所との連携



「とまりぎ」と「学習PF」を両輪にしたコミュニティの活性化

学習プラットフォーム概況 ～継続的な「学び」と「トビタテ生同志の交流」～

留学後のトビタテ生に学習プラットフォームによる継続的な学びと交流の機会を提供
留学後のトビタテ生に派遣期コミュニティという安全・安心な交流の場に加えて、
学習プラットフォームという継続的な学びや成長機会で繋がるコミュニティを提供しその活性化をはかる。



多様で活性化したコミュニティ

多様な若者が混ざり合うアルムナイ



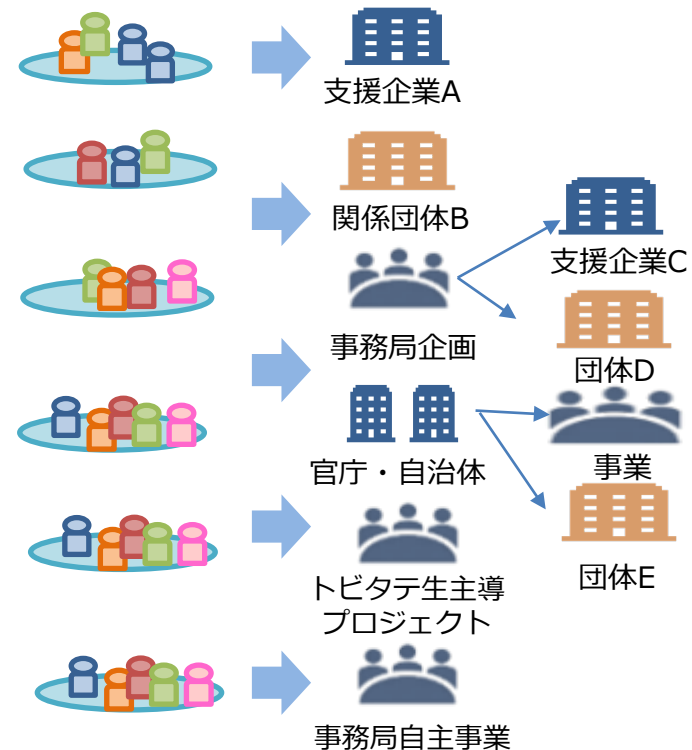
維持・活性化・拡大を実現してきた二つの機能

機能①：安心・安全な交流の場
取り組み：「とまりぎ」、事務局企画等
⇒「人・交流」に興味のあるトビタテ生

機能②：学びや成長の機会
取り組み：学習プラットフォーム（事務局主催）
⇒「知識・学習」に興味のあるトビタテ生

各所との繋がりによる価値創出

多様性を実現する各所との連携



コミュニティを活かした各所との連携の開始

団体	目的	概要	協力・成果
<p>銀実会様とのアイデアソン</p> 	<p>銀座で高いをされている経営者の方々（銀実会）に対して、2022年度7月の銀座での催し企画のアイデアを留学を経験した若い感性とグローバルな視点で提供すると同時に、トビタテ生にとっての実践の場とする。</p>	<p>アイデアソン@オンラインを終日実施。</p> <p>午前) 相互理解や銀座の歴史、風土、課題感のレクチャー 午後) ディスカッション (3チームに分かれ各々3回) と「2022年度に銀座の街を舞台に開催する企画」のプレゼン</p>	<p><2022年3月実施> トビタテ生10名、銀実会2名、事務局5名が参加。3チームから屋内、屋外で開催する企画のアイデアを10個程度提案。</p> <p>その後、銀実会側で銀座の催事委員長を通し、2022年度開催を目指して前向きに企画の検討を一緒に進めましょと承諾を頂いた。</p>
<p>孫正義育英財団生との合同留学、海外大学進学、及びキャリア相談会</p> <p>※他3組織の計4組織と連携し、運営</p> 	<p>海外の大学進学、長期留学を実施するための準備及びその後の海外キャリアについて、考えている学生の支援。</p> <p>トビタテ生が今後の進路、キャリア選択を考えるきっかけを作る。</p> <p>半数以上の参加者をトビタテ生以外とすることで、他の組織の学生との交流や意見交換、相互の刺激により、将来切磋琢磨できる仲間を参加者同士で広げる。</p>	<p>孫正義育英財団生及び奨学生の有志組織XPLANE、一般社団法人海外日本人研究者ネットワークUJA、ケイロンニアチブ、トビタテの5つの組織で協働し、海外大学進学・留学相談会を現地に進学している学生等を登壇者として開催。ヨーロッパ編とアメリカ編で各2回開催。ともに定員の50人が一瞬で埋まり需要が高いことから、海外進学後のキャリアについてもヨーロッパ編とアメリカ編を開催した。</p> <p>登壇者は30代でPIになった方やPhDホルダーの経営者、中央省庁から国連に進み国内でアカデミックポジションについている若手等、選りすぐりの登壇者を揃え、こちらも定員の70名程度の参加者枠が一瞬で埋まり、盛況で終えた。</p>	<p><2022年3月実施> 各々の組織から2名程度の運営メンバーを出し合い、協働で運営。</p> <p>当日の登壇者も各組織から4,5名出し合い、3か月の間に4回実施。</p> <p>登壇者側も参加者側も双方で濃密な情報交換や繋がりができ、企画後も各々で連絡を自主的に取り合う姿も見られ、今後も継続し、海外へ挑戦したい若者を支援できる活動として発展させていく検討を始めている。</p>
<p>KDC様とのコラボイベント</p> <p>※東日本旅客鉄道株式会社様、他2社の3社間と連携し、運営</p> 	<p>JR新大久保駅ビル内の「食」コミュニティであるJR事業のKDC様とトビタテ内の食コミュニティを掛け合わせることで、新しい食文化の発展の可能性の追求とトビタテ生の実践場として活用する</p>	<p>KDC施設の視察とオンライン上でのアイデアソンをKDC運営社員の方々及びトビタテ生で実施。視察に関しては、料理人や食品開発、実際に起業して食を提供しているトビタテ生5名に参加してもらい、施設案内後に濃厚なディスカッションを1時間半実施。</p> <p>次にオンラインでのアイデアソンでは、KDCとトビタテのコミュニティ同士でどのように具体的にコラボ出来るかの企画案を3時間にわたりディスカッションした。</p>	<p><2021年9月実施> オフラインでの視察とオンラインのアイデアソンを実施し、合計約20名の食に興味のあるトビタテ生が参加。</p> <p>アイデアソンでは9つのアイデアが出そい、それらを実現するため、正式にJR様とトビタテでパートナーのアライアンスを結ぶ予定。今後、KDC施設の食コミュニティを盛り上げる一翼として、トビタテ生企画が担えるように協働していく。</p>
<p>University of Creativity (博報堂様)</p> 	<p>人は生まれながらにして創造的であるというコンセプトのUniversity of Creativityの概念や実際に社会実装していくことは、社会で求められる要素でもあり、人が育つという環境として大切である。トビタテ生の育成目的以外にも、その社会実装で世間の人々にトビタテ生が育成環境やサービスを提供する場としての活用も目的としている。</p>	<p>アイデアを創発するマンダラというディスカッションを3回実施</p> <p>その後、既に実装に向けて動いている「問い育」の勉強会企画、AIによるラッパーの可能性を探るアイデアソンを実施。</p> <p>計5回でトビタテ生も約80名程度が参加し、各々のプロジェクトで中核になっている関係者へZ世代の価値観の共有を行った。</p>	<p><2021年10月実施> トビタテ生のグローバル目線の意見とZ世代特有の考え方の融合について評価を頂き、12月の下旬にUoCが開催するFuture Creative ConferenceでのZ世代セッションでは、トビタテ生が企画を手掛ける運びとなった。</p>

支援企業とトビタテ生との取組事例②

団体	目的	概要	協力・成果
<p>東京青年会議所</p> 	<p>教育政策室および傘下地区委員会による社会貢献運動に協力することが、トビタテ生の学びやエヴァンジェリスト活動の実践の場となる</p> <p>加えてJC会員の皆様や一般参加者の方々へのトビタテの認知向上と寄付者の獲得</p>	<p>教育政策室および傘下地区委員会による社会貢献運動の企画段階からの協力とイベント開催時のトビタテ生登壇、作品等審査協力</p> <p>○東京青年会議所 教育政策室： 「STEAM道JAPAN」2021/3-8（月1回開催） ○荒川区：「アラカワDigitalカレッジ」2021/8 ○千代田区：「メディア情報リテラシー」2021/6 ○江東区：「価値創造型人材創出」2021/4</p>	<p><2021年3月実施> 半年間で5回の登壇と小中高14人を5グループに分け、そのファシリテーターを5名のトビタテ生が務め高い評価を頂き、次年度も協力する方向で検討中。 ※最終プレゼンの審査に事務局も協力</p> <p>JC会報誌への記事掲載 JC会員からの寄附：14人</p>
<p>経済産業省関東経済産業局 (SUNDRED 様)</p> 	<p>会社や組織に所属しながら「会社」人でなく、「社会」人として考え行動し、社外でも活動を実践する「インタープレナー」の考え方は、トビタテ生が社会で活躍する際に、役立つ要素である。</p> <p>トビタテ生が自らこの概念をインプットし、それを実践することで、各々の所属組織内での周囲社員活性化をはじめ、広い視野を持つ越境人材を横断的に育てる一助になる。</p>	<p>インタープレナーの定義について代表の留目様にご講演頂く。</p> <p>その後、20代でインタープレナーとしての動きをしているトビタテ生を集め、その要因分析をする対話の会を合計3回、計30名のトビタテ生を集めて対話型ディスカッションを開催。</p> <p>9月中旬に開催された経済産業省関東経済産業局とSUNDRED様との共催カンファレンスであるIndustry-Up Weekでは、トビタテ生の登壇だけでなく、平日の対話セッション企画に、トビタテ生がアイデアから企画、当日のファシリ、オペレーションまで含め担当し実施。</p>	<p><2021年9月実施> 既に社会人になっているトビタテ生が、20代にも関わらず、越境した活動を当たり前としている要素分析について協力した。</p> <p>更にIndustry-Up Week時のトビタテ生の企画力、遂行力を評価頂き、今後のオープンイノベーション施策としてのFutureセンターのアンバサダー的なポジションでの活動も担う方向で検討中。</p>
<p>内閣府 青年国際交流事業 日本・海外同窓組織との連携</p> 	<p>長い歴史を持ち、世界中に同窓組織を持つ左記事業参加者と、新進気鋭の気概で世界を見てきたトビタテ派遣留学生の協働機会を創出。1度の海外留学だけでなく、真の意味でのグローバルな協働を促進。</p> <p>普段は出会えない水準の世界のスピーカーと対話し、グローバルな規模で社会を見る感性を涵養している。</p>	<p>・Global Leadership Training Program 多国籍の研修チームを組成し、トビタテ生と世界の青年たちが参加し学び合う講座（概論・プロジェクト創出）を実施。</p> <p>・世界の社窓から、他世界のトップランナーとトビタテ生がタブー無しで語らう場を設置。質疑応答どんな内容も聞いてよしという貴重な学びの場を創出。</p> <p>・内閣府 東南アジア青年の船事業 課題別視察の受入 東南アジア10ヶ国＋日本約40名がオンラインでトビタテを訪問、概要説明や成果物であるトビタテ生とのディスカッションを実施。</p>	<p>同窓組織同士を緩やかかつ非公式にマッチングすることで、ダイナミックかつグローバルな場にアクセスできる環境が生まれた。</p> <p>リーダーシップ講座は3回で約200名18国籍が参加、その後も毎月のように交流会が実施されている。</p> <p>他取組においても、各国紹介に始まり、グローバルシェイパーからのコンセプトノート作り講座、米Googleで提供経験のある研修、ASEAN現地の外交官からの現地レポート等、貴重な繋がりから講座等が誕生した。</p>
<p>Venture café Tokyo (CIC)</p> 	<p>世界最大級の起業家コミュニティと連携することで、トビタテ生の事業活動支援と認知度拡大。</p> <p>本起業家コミュニティでは、多くの国内外の大企業、社会起業家、実業家、行政等が入り入りしており、世の中で最先端の情報と人をキャッチアップする。</p>	<p>2018年度からトビタテ生と支援企業のコラボレーションをする場として、テクノロジーをテーマとしたピッチイベントを実施。</p> <p>2021年度では、トビタテ生の起業家、事業家を登壇者としたピッチとパネルディスカッションを「海外留学で開くアントレプレナーシップ」をテーマにすることで、「どういった経験が日本人のアントレプレナーシップを開花させるのか」についてオフライン・オンラインハイブリッドで発信。</p>	<p><2021年9月実施> 2018年度から1年半にわたり、支援企業様約10社と共にテクノロジー分野のイノベーション創出のピッチ交流会を6回開催し、計500名以上の方々にご参加いただいた。</p> <p>2021年度から連携を再開し、ピッチ、パネルディスカッションイベントを3回開催。</p>

トビタテ！留学JAPAN 第2ステージへ

トビタテ！留学JAPANに関する政策文書の記載（抜粋）

教育未来創造会議 第一次提言 ～我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について～（令和4年5月10日）（抜粋）

Ⅲ. 具体的方策

1. 未来を支える人材を育む大学等の機能強化（4）グローバル人材の育成強化
＜検討の方向性＞ ②産学官を挙げてのグローバル人材育成

- ・ 高校段階からの段階に応じた海外留学支援を強化する。
- ・ 民間企業の寄附を通じて意欲ある学生の留学促進を行う「トビタテ！留学JAPAN」の発展的推進など、若者の海外留学促進に向けて企業、地方公共団体の参画を促進する。
- ・ 企業等における採用・人材育成面での海外留学経験の評価を促進する。

統合イノベーション戦略2022（令和4年6月3日 閣議決定）（抜粋）

第2章 Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策

3. 一人ひとりの多様な幸せ（well-being）と課題への挑戦を実現する教育・人材育成
①STEAM教育の推進による探求力の育成強化

民間企業の寄附を通じて意欲ある学生の留学促進を行う「トビタテ！留学JAPAN」を発展的に推進。

経済財政運営と改革の基本方針2022 新しい資本主義へ～課題解決を成長のエンジンに変え、持続可能な経済を実現～（骨太方針2022）（令和4年6月7日 閣議決定）（抜粋）

第2章 新しい資本主義に向けた改革

1. 新しい資本主義に向けた重点投資分野
(2) 科学技術・イノベーションへの投資

寄附に基づく「トビタテ！留学JAPAN」*の発展的推進を含め、若者の世界での活躍を支援し、コロナ禍で停滞した国際頭脳循環の活性化に取り組む。
* 官民協働で海外留学を支援する取組。

新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画・フォローアップ（2022年）（令和4年6月7日 閣議決定）（抜粋）

- I. 新しい資本主義に向けた計画的な重点的投資
2. 科学技術・イノベーションへの重点的投資（5）大学教育改革（多様な学びの推進）

停滞した国際的な学生交流を抜本的に立て直すため、大学・関係機関等が一体となって日本の魅力ある教育コンテンツを開発し、国際教育プラットフォームを通じて世界へ発信するとともに、官民協働海外留学支援（「トビタテ！留学JAPAN」）の発展的推進等を行う。

ビジョン

日本の若者が世界に挑み、“本音と本気”で国内外の人々と協働し、
創造と変革を起こす社会

コンセプト

Challenge, Connect, Co-creation

- Challenge:** 若者の海外への挑戦をオールジャパンで応援する。
- Connect:** トビタテ生同士を繋げ、多様な若者が繋がるコミュニティを形成する。
トビタテ生が海外のネットワークと繋がる。
トビタテコミュニティと志を同じくするステークホルダーを繋げる。
- Co-creation:** 協働して次期事業を創り上げ、留学機運を再醸成する。
協働プロジェクトを創出し、社会に創造と変革を起こす。
価値イノベーション人材のロールモデルを輩出する。

1

新・日本代表 プログラム

民間寄附による留学支援制度「日本代表プログラム」後継事業として、「自ら社会に変革を起こしていくグローバルリーダー」（大学）や「社会（地域）にイノベーションを起こすグローバル探究リーダー」（高校）を育成する新たなプログラムをスタート。より若い時期からの海外経験を将来の留学につなげるため、高校段階からの留学の機運醸成・支援を強化する。

2

留学 プラットフォーム

留学支援の取組を可視化することでより多くの主体が支援に取り組む状況を目指し、留学支援者相互及び留学希望者との架け橋を築き、トビタテが持っているノウハウを提供することにより、関係者のネットワークを活用した留学機運醸成を図る。

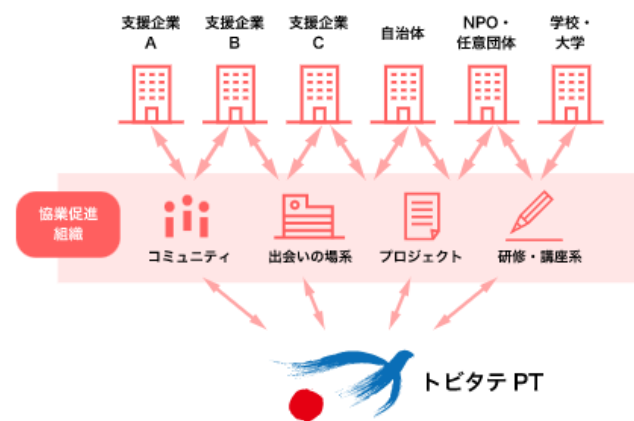
3

価値イノベーション 人材ネットワーク

多様な海外体験をした人材の成長を加速する組織やセクターを越えたネットワークを築き、トビタテコミュニティの更なる活性化を図り、国内外の多様なステークホルダーとの協働を促進。

1 協働促進組織（パートナー）の開拓と連携

- ▶ トビタテコミュニティとは異なる属性のコミュニティ、事務局にない出会いの場（施設）、プロジェクト、研修・講座ノウハウなどの便益を提供している組織を開拓。
- ▶ 支援企業・団体に加え、公益を主とするNPO、社団、任意団体、企業などを想定。



2 協働プロジェクトの創出

- ▶ トビタテ生の自主プロジェクトは、プロジェクトで主要な役割を担うものを可視化し（3）のHPに掲載
- ▶ 事務局が主催するものは、下記の「4つの共創タイプ」を中心に開催。場合によりパートナーとも協働しながら実施。



トビタテ生の自主プロジェクト
トビタテ事務局主催

事務局が主催する4つの共創タイプ

コミュニティミックス型

オープンイノベ型

アイデアソン型

壁打ち
リバースメンタリング型



トビタテ!留学JAPAN
新・日本代表プログラム

高校生等

大学生等

700名 250名 募集



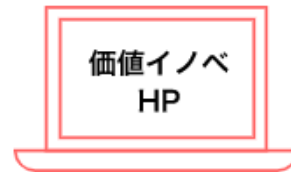
返済不要の奨学金
(最大16万円/月)

語学力・成績不問

14日～1年間の
自由な探究活動を支援

3 成果の可視化

- ▶ 従前開催していた留学成果報告会の発表内容を留学後のキャリア編に改変して開催。
- ▶ トビタテ生の活躍や協働プロジェクトを紹介するHPを今年度（2022年度）内に立ち上げ5年間で実績を蓄積、発信していく



4 社会にインパクトをだす 価値イノベーション人材 2,000人の輩出・可視化

[属性イメージ]

- ・ 起業家
- ・ 経営者
- ・ 企業内事業責任者
- ・ 世界トップクラスのコミュニティへの選出
- ・ 第一著者での国際誌への掲載
- ・ 特許の取得数
- ・ 政治家、官庁の重要職
- ・ スポーツ、芸術、文化芸能等で著しい活躍実績
- ・ 海外を拠点に活動するネットワーク人材
- ・ SNSフォロワー10万人以上
- 等